

(お知らせ)

平成27年7月29日

全国で4施設目！

地方独立行政法人京都市立病院機構
京都市立病院
(担当 経営企画課 電話 311-5311)

(担当 保健福祉局保健衛生推進室医務衛生課)
電話 213-2983

手術支援ロボットを用いた胃がんの胃切除術が 先進医療として認められました

京都市立病院では、平成25年7月に手術支援ロボット“ダ・ヴィンチ (da Vinci Surgical System)”を導入して以来、これまでに前立腺がんを中心に168例（泌尿器科143例，外科21例，呼吸器外科4例）もの手術症例を積み上げてきました。

この度、これらの取組が評価され、京都市立病院で実施する手術支援ロボット“ダ・ヴィンチ”を用いた「腹腔鏡下胃切除術」が、一般の保険診療で認められている医療の水準を超えた最新の医療である「先進医療[※]」として認められました。

これにより、保険診療との併用が認められるため、手術以外の一般保険診療と共通する部分（診察・検査・投薬・入院料等）の費用は、保険給付の対象となります。

この手術が先進医療として承認されたのは、藤田保健衛生大学病院、佐賀大学医学部付属病院、静岡県立静岡がんセンターに次ぐ、全国で4施設目、臨床のみ行う総合病院では初めてとなります。

※ 先進医療は、「厚生労働大臣が定める高度の医療技術を用いた療養その他の療養であって、保険給付の対象とすべきものであるか否かについて、適正な医療の効率的な提供を図る観点から評価を行うことが必要な療養」として、厚生労働大臣が定める「評価療養」の1つとされています。

先進医療は大学病院等を中心に実施されていますが、臨床のみ行う総合病院では極めて進んだ取組です。



1 先進医療技術名

内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下胃切除術

2 適応症

根治切除が可能な胃癌のうち対象と判断されたもの

3 算定開始日

平成27年7月1日

4 これまでの経過

平成25年7月		手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入
平成25年9月	3日	ロボット支援前立腺全摘術を開始
平成26年2月	12日	胃癌に対するロボット支援手術を開始
平成27年7月	1日	当院の内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下胃切除術が先進医療に承認
平成27年7月	9日	先進医療初症例を実施

5 先進医療の承認要件

【施設】

- ①ロボット支援下胃切除を導入後1年以上経過している。
- ②ロボット支援下胃切除を20例以上施行している。
- ③その内少なくとも5例はロボット支援下胃全摘である。
- ④過去4年間に胃癌に対する腹腔鏡下胃切除を50例以上行った実績がある。
- ⑤過去4年間の腹腔鏡下胃切除の全合併症発症率が12%以下である。

【手術執刀医】

- ①「日本消化器外科学会消化器外科専門医」「日本内視鏡外科学会技術認定医」「DVSS の Certificate」のすべての資格を取得していること。
- ②10例以上のロボット支援下胃切除術の経験があること。
- ③その内1例以上が胃全摘であること。